



海外帰国者の「麻しん(はしか)」の感染事例が報告されています。

●麻しん(はしか)について

麻しん(はしか)とは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、麻しんに対して免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

現在、海外では麻しんが流行している地域があります。海外で感染した方が、帰国後に発症し、国内で感染が拡大することが危惧されます。

・**症状**…約10~12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱、かぜ症状(咳、鼻水、目の充血など)が2~4日続き、その後**39℃以上の高熱**とともに**発しん**が出現します。

・**感染経路**…麻しんウイルスは**感染力が非常に強く、空気感染等**により、簡単に人から人に感染します。感染力のある期間は症状の出現する1日前(発しん出現の3~5日前)から発しん消失後4日くらいまで(または解熱後3日くらいまで)とされています。

・**予防法**…**ワクチン接種が有効**です。1回の接種で、95%の人が麻しんに対する免疫がつくと言われています。また、確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくと言われる2回の接種が望ましいとされています。接種については医師に相談してください。

★海外から帰国後、2週間程度は健康状態(特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状)に注意しましょう。

★症状がある場合は医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。また、医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。



厚生労働省ホームページ  
「麻しんについて」



定点 種別	期 間		2024年 9週		2024年 10週	
			2/26~3/3		3/4~3/10(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
C O N F I D - 1 9	インフルエンザ <b>警報レベル!!</b>	↑	408	16.32	423	16.92
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) <b>注意</b>	↑	176	7.04	110	4.40
小 児 科	RSウイルス感染症	↑	2	0.13	4	0.25
	咽頭結膜熱(プール熱)	↑	11	0.69	22	1.38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 <b>注意</b>	↑	70	4.38	74	4.63
	感染性胃腸炎 <b>流行中</b>	↑	50	3.13	66	4.13
	水痘(みずぼうそう)	↑	5	0.31	4	0.25
	手足口病	↑	15	0.94	8	0.50
	伝染性紅斑(りんご病)	↑	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	↑	6	0.38	4	0.25
	ヘルパンギーナ	↑	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	↑	1	0.25	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	↑	2	0.50	3	0.75
基 幹	細菌性髄膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	↑	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	↑	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	↑	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑	0	0.00	0	0.00